

地域と連携した探究活動を行い、その成果を校内外で発表

邑久高等学校 セトリー運営指導委員会

活動の目的

市内唯一の高等学校として、地域の要望や期待などを受け止め、地域と連携した幅広い学習活動を展開する中で、高校生の地域理解や地域社会に貢献する姿勢を養い、将来地域で活躍する人材を育成することを目的とする。

活動の内容及び経過

- 外部講師による講義をSDGs、保育、看護、ハンセン病等、計12回開催。
- 地域の方々17名の協力で「聞き書き」の活動を1年次で計5回開催。
- 1年次で科・コースの特性に応じた地域企業見学で4事業所を体験見学。
- 2年次の進路別4グループが地域の魅力の発見や課題の解決に取り組む。
- 地域での体験活動として長島や保育園の訪問やこどもひろばへの参加。
- 瀬戸内市民図書館と連携した探究の情報収集学習、地域学展示発表。
- 1年次岡山県立大学訪問で地域と連携した学問や研究についての見学。
- セトリー運営指導委員会を年間3回開催（1回は文書開催）
- 1月21日に実践報告会を開催。

活動の成果・効果

- 実践報告会では来校者17名、生徒（リモート併用）約200名に成果を発表。山陽学園大学地域マネジメントコンテスト2020で最優秀賞と優秀賞、全国ユース環境活動発表大会中国地方大会で優秀賞、第2回探究活動プレゼンテーションアワードでグッドプレゼン賞を受賞した。
- 1月実施アンケートで「地域をよくする活動への参加は重要」で肯定的回答は91%、その内「とても」は4月の47%から57%に増加、「地域活性化への貢献」で肯定的回答は86%、「とても」は35%から46%へと増加。
- 福武教育文化振興財団成果報告会、NPO法人カタリバ主催マイプロジェクトアワード2020全国伴走者フォーラムで、教員が実践発表。

今後の課題と問題点

- 探究の指導についての教員のスキルアップ
探究の進め方や情報の扱い方など、教員の指導力を高める必要がある。
- 外部人材の活用
継続的な活動にするためにも地域を中心とした外部講師



国立療養所長島愛生園・邑久光明園訪問



瀬戸内市立長船東保育園での体験学習



成果報告会でのポスターセッション

成果報告会でのステージ発表と質疑応答

を活用したい。

- 継続的な研究・活動を行うための時間と資金の確保
今年度から3年間、県から地域協働活動コーディネーターが配置された。
地域での活動に必要な交通費や活動の材料費を確保する必要がある。

地域との連携をさらに良いものにして、地域に根付いた活動にしたい。

- 代表者：萩原康正 ●所在地：瀬戸内市邑久町尾張
- TEL：0869-22-0017 ●E-MAIL：oku@pref.okayama.jp
- URL：http://www.oku.okayama-c.ed.jp/wp/
- 設立年：2016年 ●メンバー数：51名